

図書館だより 12月号

令和5年12月19日
万代高校図書館

あっという間に12月になっていたという感じがしますね。2023年ももうすぐ終わります。私にとっては、大きな出来事がたくさんあった一年でしたが、皆さんにとってはいかがだったでしょう。やってみたくて思っていたことができたり、行ってみたくて思っていたところに行けたりして、「いい一年だった」という気持ちで新しい年を迎える人がたくさんいてくれることを願っています。

さて、今月も私は映画を観てきました。『鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎』です。正直、最初は選択肢に入っていなかった作品ですが、ある生徒さんの熱心なおすすめを受けて、映画館へ出かけました。とても衝撃的なストーリーで、カッコよかったり怖かったり悲しかったり、いろんな方向に心揺さぶられる映画でした。観てよかったと思いました。

私という重さ60kgの物体をヨイショと運ぶのに必要な物理的エネルギーの計算は得意な人に任せますが、私が動いたのは、体より先に「心」を動かされたからです。人の心を動かすのは、熱のこもった言葉です。そんな言葉を、たくさん持った人でありたいですね。生きた言葉、熱量のある言葉を持てば持つほど、人生は豊かになるのではないかと私は思います。で、そのための方法としては読書をおすすめしますよ、という、いつもの話です。

寒い冬ですが、温かい部屋で本と過ごすには、とても良い時間です。年が明けて、皆さんの読んだ本について、出会った言葉について、元気な顔を見ながら聴かせてもらえたら嬉しいです。皆さん、楽しいクリスマスを！そして、どうぞ良い年末年始をお過ごしください。

図書館司書 楠



千の扉あけて 第28章

本の表紙を開いて最初に現れる、タイトルの書かれたページのことを「扉(とびら)」と呼びます。本を開くことは、いろんな世界、いろんな物語、いろんな知識へとつながる扉を開くこと。これから皆さんを、無数にある扉のひとつへご案内します。それをあけるかどうかは、あなた次第。ですが一冊の本の世界を旅した時、きっとそれ以前とは変わっている自分に気づくでしょう。今回の「扉」は…

『BLUE GIANT』

石塚 真一 著
小学館

726
イ



このコーナーでは初めてですが、漫画を紹介しようと思います。とにかく声を大にして、おすすめしたい作品です。

主人公は仙台に住んでいる高校3年生の宮本 大。彼は中学生のときに初めてジャズのCDを聴いたことがきっかけで「世界一のジャズプレイヤーになる」と心に決め、毎日川原でアルトサックスの練習を始めます。やがて様々な出会いに導かれ、大は少しずつ夢に近づいていきます。その道が熱く描かれていて、読み始めたら止まりません。

もちろん、順風満帆な物語ではありません。否定され、挫折も味わいます。でもそこでへこまないのが彼です。仲間と出会い、腕を競い磨き合いながら、ジャズという奥の深い音楽にまっすぐ向き合い成長していく主人公と仲間たちの姿は、読む人の胸を熱くさせます。

うまくいかない時も、「これが好きだ」という自分の想いを信じ続けること。決して歩みを止めないということ。それは音楽に限らず、とても大切なことですね。「夢の叶え方の教科書」と呼びたくなるこの作品。万代高校の先生方にもファンがたくさんいますが、大たちと同じ年代の高校生の皆さんも、ぜひ読んでみてください！

それではまた、次の扉でお会いしましょう！



PICK UP! クリスマスの本



『34丁目の奇跡』

ヴァレンタイン・デイヴィス 著
片山しのぶ 訳
あすなる書房



「奇跡の結末」を
読んでみてください!



メイプルウッド老人ホームに住むクリス・クリングル氏は、朗らかで優しく、誰からも好かれている。ひとつ変わっているところといえば、「私はサンタクロースです」といつも言っていること。ある事情でホームを離れたクリングル氏は、デパートでおもちゃ売りのサンタ役として働くことになるが、そこで厄介なトラブルに巻き込まれて…

なんとクリングル氏がサンタクロースであることを証明する裁判が開かれるのですが、弁護人のフレッドは頭を抱えながらも、あっと驚く方法でそれを証明します。いったいどうやって!?

クリスマスになると繰り返し読み継がれている、心温まるお話です。

『サンタクロースっているんでしょうか?』

フランシス・P・チャーチ 著
中村妙子 訳
偕成社



1897年、8歳の少女がニューヨーク・サン新聞社に「サンタクロースって、本当にいるんでしょうか?」という手紙を書きました。記者はその返事を綴り、社説として紙面に掲載します。その温かい優しさに溢れた文章は人々の心を打ち、やがて本になり、長く広く親しまれています。

この時期、世界中でたくさん子どもたちと大人たちが、この本を手に入れていることでしょう。開けば優しい気持ちになれること間違いなしの一冊です。

新しい年も、皆さんに素敵な本との
出会いがありますように!

